

平成29年度「輝けやまがた若者大賞」受賞者一覧

No	団体名	主な活動内容等
1	<p>公益社団法人 村山青年会議所 (村山市)</p> <p>・理事長 高橋 和也 (村山市在住) ・会員 31名(男29、女2) ・対象活動開始時期 平成25年1月</p> 	<p><活動の目的> ○子どもたちに郷土の魅力を知ってもらい、郷土を好きになってほしい ○大人も子どもも、全員が笑顔にあふれた地域をつくりたい</p> <p><活動概要> 青少年育成事業「むらやま未来大使」の実施。この事業は、平成25年に開始し、子どもたちに地域のたから「バラ・そば・徳内」を学ぶことを通して郷土の歴史や魅力を伝え、また、他地域の文化を学び比較することで更に深く村山市を知ったうえで、子どもたちが村山市の魅力をも未来へ広く伝えていくもの。</p> <p><28年度の主な活動> ・「むらやま未来大使2016」で、50名の小学生を「未来大使」に任命 ・未来大使が13名の市民先生（地域の方々）から、地域の歴史、地域の宝、地域の思いなどについて学ぶ体験学習の実施 ・未来大使が村山の魅力を踊り、囃子、山車に取り入れ、オリジナルの徳内ばやしを作り、子どもたちの思いを「徳内まつり」で広く発信</p> <p><評価のポイント> ○「あるもの探し」をする前向きな発想は、他地域で見本となるもの ○子どもたちと地域の方をつなぎ、幅広い世代の交流がなされる取組み</p>
2	<p>ひまつり 縄文炎祭実行委員会 (舟形町)</p> <p>・代表 叶内 昌樹 (舟形町在住) ・会員 18名(男13、女5) ・対象活動開始時期 平成23年8月</p> 	<p><活動目的> ○幅広い世代、町内外と交流ができるイベントを開催し、地域を元気にしたい ○子どもたちに、郷土への誇りと郷土愛を育みたい</p> <p><活動概要> 国宝「縄文の女神」の生誕を祝う「縄文炎祭」を開催している。また、地域の一大イベント「ふながた若鮎まつり」の運営、中学生を対象とした縄文土器づくり体験を実施している。</p> <p><28年度の主な活動> ・「縄文炎祭」の開催 ・「ふながた若鮎まつり」の開催 ・舟形中学校の全生徒に、縄文土器・土偶づくり体験学習の実施</p> <p><評価のポイント> ○唯一無二の宝である「縄文の女神」を活用した無限の可能性のある取組み ○中学生の体験学習を通して、郷土の誇りが継承されている</p>
3	<p>一般社団法人 南陽青年会議所 (南陽市)</p> <p>・理事長 木村 茂 (南陽市在住) ・会員 52名(男51、女1) ・対象活動開始時期 平成18年8月</p> 	<p><活動目的> ○市民が集い、楽しむ場をつくりたい ○南陽市の魅力を広く発信し、地域を活性化したい</p> <p><活動概要> 南陽市の夏の風物詩となっているイベント「あかり絵」を実施している。このイベントは、約3,000個のあかり絵を飾った幻想的な空間を創出することに加え、毎年設定するテーマに合わせた多様なプログラムを組み合わせるもの。 ※あかり絵：ランタンを絵で飾り付けたもの。絵は、市内の全保育園・幼稚園等の園児や希望する小学生、地域の方々が描いたもの。</p> <p><28年度の主な活動> ・第11回となるイベント「あかり絵」を開催 ・テーマは「夢はかなう」とし、元サッカー選手をコーチとしたサッカークリニック、ご当地ヒーローショー、気球フライト体験、朝倉さやのライブなど、様々なプログラムを実施した。</p> <p><評価のポイント> ○子どもたちに「ふるさと」を意識させる契機となる取組み ○毎年テーマを変え、さらなる地域活性化を志向する姿勢が高評価</p>

平成29年度「輝けやまがた若者大賞」受賞者一覧

No	団体名	主な活動内容等
4	<p>こたまがわ 小玉川青年団イチコロ (小国町)</p> <p>・代表 藤田 梨絵 (小国町在住) ・会員 18名(男11、女8) ・対象活動開始時期 平成24年1月</p> 	<p><活動目的> ○自分たちも地域の方々も一緒になって楽しめるイベントの創出 ○地元を離れた若者が帰ってきたいと思える地域を作りたい</p> <p><活動概要> あり余る「雪」を観光資源として、巨大迷路「雪の中の大冒険」を開催。平成27年度からは、地域の方々からの協力を得て、「小玉川雪まつり」へ発展している。このほか、地域の伝統行事であるマタギの里「小玉川熊まつり」の担い手となっている。</p> <p><28年度の主な活動> ・第6回「雪の中の大冒険」を開催 ・伝統行事であるマタギの里「小玉川熊まつり」の企画・運営 ・秋の紅葉シーズンに向けた地域のゴミ拾い</p> <p><評価のポイント> ○自分たちが楽しみたいという若者らしい発想から、地域全体の取組みに広がりを見せている ○豪雪を逆手に取り、楽しむ発想とやり遂げるパワーが素晴らしい</p>
5	<p>一般社団法人 あきんどなまか (鶴岡市)</p> <p>・代表 菅 亮太 (鶴岡市在住) ・会員 4名(男2、女2) ・対象活動開始時期 平成25年5月</p> 	<p><活動目的> ○高校生の地元定着と進学後のUターンを促進したい ○地元企業の魅力と地元で働くことの魅力を知らせたい</p> <p><活動概要> 進路決定前の高校生を対象とした職業体験会「WAKU WAKU WORK」を開催している。これは、生徒を10名程度のグループに分け、約10～30社の協力企業のブースで、実際の仕事を体験するもの。生徒の希望を取らずに無作為に選んだ企業ブースを体験してもらうのが特徴。</p> <p><28年度の主な活動> ・庄内地域5校で「WAKU WAKU WORK2016」を開催、合計838名の生徒、108の企業・団体が参加 ・進学希望生徒を対象に加え、転出前に地元企業を知る機会を創出 ・新庄市、米沢市において、「WAKU WAKU WORK」の取組みを紹介する講演をした結果、県内各地で職業体験会の開催が実現</p> <p><評価のポイント> ○他地域でも参考にできるロールモデル ○若者が自ら次世代の若者を育てようとする意気込みが素晴らしい</p>
6	<p>合同会社とびしま (酒田市)</p> <p>・代表 本間 当 (酒田市在住) ・社員 8名(男4、女4) ・対象活動開始時期 平成25年3月</p> 	<p><活動目的> ○飛島に雇用を生み出し、U I ターンの受け皿となりたい ○飛島の魅力を県内外に発信したい</p> <p><活動概要> 飛島にUIターンにより移住した若者たちが、様々な事業を通して飛島の活性化を図っている。飲食店、農水産物の加工・販売、新たな特産品の開発、観光ガイドなど、様々な事業を展開し、島民と一体となって飛島の活力を生み出している。</p> <p><28年度の主な活動> ・飲食店「カフェスペースしまかへ」の運営 ・土産店「島の駅とびしま」の運営 ・海産物加工所「みはらし加工所」の運営 ・居酒屋「島の炭火焼きカフェ&バル 炭かへ」の運営 (酒田市中町) ・移住体験事業や除草・除雪事業の受託</p> <p><評価のポイント> ○若者の意欲に、良い意味で地域の方々が巻き込まれている ○離島や中山間地域における地域活性化のモデルとして高く評価できる</p>